

滝畑ダムで地酒を熟成

～『府・市・民間企業による連携施策滝畑ダム地酒熟成プロジェクト』が始動～

この度、滝畑ダムの魅力を生かした地域振興・観光振興をめざし、滝畑ダム湖底やダム施設の一部であるリムトンネル(※1)で、観光資源の1つとなる地酒の熟成の検証を行います。

滝畑ダムの湖底は、冬から春にかけて水温が7度で保たれ、水の流れが穏やか。また、リムトンネルは、高さ約2.5メートル、長さ約90メートルの工事用小型トンネルで、同じく冬から春にかけては気温が12度前後で推移する、安定した環境を保つことができる施設です。

これらの特性を生かし、大阪府と地元醸造企業と連携し、約半年間貯蔵させて地酒が熟成可能であるか検証(※2)します。

※1 リムトンネル：ダム建設時に、堤体上面横の山に掘られた工事用小型トンネル。現在は未使用。

※2 味覚センサーによる数値分析及び官能検査(きき酒)を実施予定

◆ 貯蔵期間

平成28年12月26日(月)午前10時から平成29年5月31日(水)まで
(3月中旬に中間確認、6月上旬に分析等実施予定)

12月26日午前10時より、ダム湖底等において地酒の貯蔵を開始します。

◆ 場所

河内長野市滝畑240-2 滝畑ダムのダム湖底(滝畑ダムサイト直上流部コンクリート構造物上)及びリムトンネル最奥部

◆ 貯蔵内容

各箇所に一升瓶6本入りケース1つ(地酒3種類×2本)の計12本

◆ 今後の予定

本格運用に関しては、本検証結果を踏まえ、本市と企業等で連携し、奥河内の特産品となるよう推進していく予定です。

※なお、上記内容は同日付で大阪府から大阪府政記者会に報道提供されています。

問い合わせ 河内長野市環境経済部産業観光課(☎0721-53-1111)